

# 施策評価シート

幹事部局

健康福祉部

施策の名称	Ⅱ-1-(1) 結婚への支援
施策の目的	結婚や家庭についての若い世代の理解と関心を高めるとともに、多様な出会いの場を増やすことで結婚を望む男女の希望をかなえます。
施策の現状に対する評価	<p>①(市町村における結婚支援への取組の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の結婚意識調査では、独身者の半数以上が「相手がいない」ことを未婚理由としており、身近で気軽に会える環境づくりが課題となっている。</li> <li>これまでの取組により市町村における出会いの場創出等が進んだ一方で、交際や成婚につながるための支援等に課題がある。</li> </ul> <p>②(相談・マッチング機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響により、全県の婚姻数は減少しているが、しまね縁結びサポートセンターが関与した婚姻数は過去最高の82組となり、「はぴこ」や「しまこ」は益々重要な取組となっている。</li> <li>また、コロナ禍の影響による「はぴこ」の引き合わせ件数の減少や、「しまこ」の閲覧場所が限定されていること等を踏まえ、自宅閲覧やリモート引き合わせ機能等を「しまこ」に追加したほか、令和3年度からの「しまこ」会員登録料減額により、特に女性会員の増加につながった。</li> <li>県外在住の島根県出身者などの県内転入や移住を促進するため、県外在住者向け出会い創出イベントを開催したが、コロナ禍の影響によりオンライン開催にとどまった。</li> </ul> <p>③(啓発活動・情報発信の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校から大学を対象として、結婚・妊娠・出産・子育てに関する知識を得たり、命の大切さや親子の絆、自らが人生設計を考えるための講座を開催し、「親への感謝」や「正しい性知識の大切さ」などの意見が多数寄せられているが、高校・大学等での実施回数は、アプローチの時期の遅さ等から、小中学校に比べて少なく、啓発活動が十分ではない。</li> </ul> <p>(前年度の評価後に見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村における出会いの場への参加者等を「はぴこ」や「しまこ」につなげ、専門的な婚活支援が提供できるよう市町村交付金制度を見直した。</li> <li>コロナ対策や地理的な利便性向上のため、「しまこ」の自宅閲覧機能等を追加した。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<p>①(市町村における結婚支援への取組の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての市町村において、結婚を望む独身男女が結婚支援サービスを気軽に活用できるようにするため、相談・支援体制の確立に向けた支援や他自治体の取組事例紹介を行うとともに、民間イベント等も含めた身近な出会いの場の創出支援及び参加者を「はぴこ」「しまこ」につなげることなど、より専門的で広域な結婚支援サービスを進めていく。</li> </ul> <p>②(相談・マッチング機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内独身者のうち、「はぴこ」や「しまこ」を知っている割合は約2割と低く、結婚を希望する独身男女の選択肢としては不十分であることから、しまね縁結びサポートセンターにおける「はぴこ」の活動支援を継続するとともに、「しまこ」については、SNS等を活用して、リモート環境整備や利便性の向上を図った点について積極的にPRを行い、更なる会員登録者数の増と幅広いマッチング体制をめざす。</li> <li>「しまこ」会員登録料減額を継続実施し、新規会員、特に女性会員の登録増加をめざす。</li> <li>定住施策と連携して県外在住者にイベント、マッチング機会を提供することにより、県内への転入や移住促進にもつながる結婚支援に取り組んでいく。</li> </ul> <p>③(啓発活動・情報発信の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校・大学等での講座開催回数が増えるよう働きかけるとともに、これまでと同様、子どもや若者に向けて講座を継続し、結婚や家庭についての理解と関心を高めていく。</li> <li>結婚・妊娠・出産・子育てに係る情報を、利用者目線でわかりやすく一元的に発信していく。</li> </ul>



事務事業の一覧

施策の名称		Ⅱ-1-(1) 結婚への支援				
	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	結婚支援事業	結婚を願う独身男女	結婚を願う独身男女の出会いの機会を増やし、結婚の可能性を高める	112,405	162,915	子ども・子育て支援課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

子ども・子育て支援課

事務事業の名称		結婚支援事業			
目的	誰(何)を対象として	結婚を願う独身男女	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	結婚を願う独身男女の出会いの機会を増やし、結婚の可能性を高める		112,405	162,915
			うち一般財源 (千円)	104,395	115,246
令和4年度の取組内容		・しまね縁結びサポートセンター(縁サポ)を通じ、出会いの場づくりを行う縁結びボランティア「はびこ」の活動支援、自ら相手探しができるコンピューターマッチングシステム「しまこ」の運用及び新規登録増加を目的とした登録料減額継続 ・県交付金により、市町村による身近な出会いの場の創出を強化するとともに、その出会いの場等を通じて、婚活を始める男女を、専門的な知識・経験のある「はびこ」「しまこ」へつなげることで、交際数や成婚数が増加するよう、全県的な取組を実施 ・定住施策と連携した県外在住者向け出会い創出イベントの実施・情報発信 ・家族の意義や命の大切さ、妊娠・出産などの医学的知識やライフプラン設計など、小・中・高校・大学等での講座を開催			
令和3年度に行った評価を踏まえて見直したこと		・市町村の身近な出会いの場の創出が縁サポ(はびこ・しまこ)につながることで、交際・成婚が増加するよう県交付金を見直し。 ・利用者の地理的な利便性向上やコロナ対策として、「しまこ」に自宅閲覧機能・リモートお引合せ機能を追加。 ・「しまこ」の登録料減額の継続やリモート環境整備を、「しまこ」の登録数増加につなげるため、SNSなどを活用した広報を強化。			
1	上位の施策	Ⅱ-1-(1) 結婚への支援	3	上位の施策	
2	上位の施策	Ⅳ-3-(2) 安心して家庭や仕事に取り組むことができる環境づくり	4	上位の施策	

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	しまね縁結びサポートセンターを通じた婚姻数(R2からの累計)【当該年度4月～3月】	目標値		75.0	150.0	225.0	300.0	375.0	組	累計値
		実績値 (単年度78)		75.0	157.0					
		達成率	—	100.0	104.7	—	—	—		
2	結婚を希望する「はびこ」の利用申込者及び「しまこ」の会員の人数【当該年度3月時点】	目標値		1,800.0	2,000.0	2,050.0	2,100.0	2,150.0	人	累計値
		実績値	1,873.0	1,904.0	1,860.0					
		達成率	—	105.8	93.0	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		・県内婚姻件数の推移 H29年:2,662組 H30年:2,672組 R元年:2,625組 R2年:2,398組 R3年:2,336組 ・「はびこ」が設定するお引き合わせ件数 H30年度:2,142件 R元年度:2,079件 R2年度:1,532件 R3年度:1,316件 ・「はびこ」活動に伴う交際件数の推移 H30年度:536件 R元年度:563件 R2年度:403件 R3年度:374件 ・「しまこ」会員数 H30年度末:239人 R元年度末:425人 R2年度末:527人 R3年度末:603人 ・「しまこ」によるお引き合わせ件数 H30年度:51組 R元年度:195組 R2年度:204組 R3年度:327組 ・学校での講座開催回数 R3年度:159回(小中学校:127回 高校:31回 大学:1回)								

## 3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・「はびこ」が設定する引き合わせ件数は、コロナの影響でR2年度から216件減少したが、婚姻数は70組を達成(R2年度:70組) ・「しまこ」の会員数は、登録料減額キャンペーンの効果もあり、R2年度から76人増加、鳥取県のえんトリー会員からのしまこ連携希望者485人とあわせ、これまでなかった出会いの機会を提供。婚姻数も12組を達成(R2年度の4組に比べ3倍) ・R3年度末時点で、結婚支援員・相談員は7市町(R2と同じ)、「しまこ」端末は14市町に設置(R2から2市町村増加)
課題分析	① 課題	ア)縁サポや、「はびこ」、「しまこ」の認知度が不足している(R3結婚意識調査結果) イ)「はびこ」の相談登録者数、「しまこ」の会員登録者数とも、男性が女性より多く、男女比のバランスがとれていない ウ)市町村が実施するイベント等への参加者と、縁サポの「はびこ」「しまこ」が繋がっていない エ)子どもや学生が、妊娠・出産・子育ての正しい理解を得たり、結婚など自らの将来を考える機会が特に高校・大学等で不足している
	② 原因	ア)結婚を希望する独身男女に対する県(縁サポ)の結婚支援事業が十分に周知されていない イ)コロナによる「はびこ」活動の低下や、「しまこ」の会員登録手続きや閲覧場所が限定されていること、及び女性の個人情報等に対する不安や女性の県外転出が多いこと ウ)県(縁サポ)と市町村の連携が不足している エ)高校・大学等での講座の意義に対する理解や、開催に向けた働きかけが不足している
	③ 方向性	ア)県(縁サポ)の結婚支援事業を、分かりやすい動画などにより、SNS等を通じて積極的にPRする イ)「しまこ」の自宅閲覧等による利便性の向上、公的機関運営による安全性、会員登録料減額の継続等をSNSを活用して積極的にPRし、閲覧対応の充実及び会員登録者数の増を図る。併せて、定住施策と連携した県内転入や移住促進に取り組む ウ)R4からの県交付金が十分に活用されるよう、全市町村と意見交換を実施し、これまで県や縁サポが取り組んできた結婚支援事業の全県展開や、相談・マッチング機能の充実を図り、交際数・成婚数の増加を目指す エ)高校・大学等を中心に、助産師による出前講座や、ライフプラン講座の開催を働きかけ、より多くの生徒等自らが結婚や家庭について考える機会を設ける

## 事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	結婚支援事業
---------	--------

### 「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

### 「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	縁結びボランティア「はぴこ」の人数【当該年度3月時点】	目標値		240.0	255.0	270.0	285.0	300.0	人	累計値
		実績値	237.0	260.0	260.0					
		達成率	—	108.4	102.0	—	—	—		
4		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
5		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
6		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
7		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		